

危険を冒す力

今年4月に夫のニックとグアテマラを訪れたのですが、ここで出会った素晴らしいロータリー会員やその家族は「ティア・ジェニファー（ジェニファーおばさん）」と私を呼んで歓迎してくれました。滞在3日目、グアテマラ西部にあるパツーンという地域を訪れた後、アティトラン湖に向かいました。日が暮れるまでに到着する必要がありました。裏道を使えば早く着きます。地元の人たちによると、舗装したばかりだから「問題ない」という話でした。

最初は問題ありませんでした。まるでキルトのパッチワークのように山腹を覆う、かすみがかかった緑のコーヒー畑とトウモロコシ畑の間を縫って進みました。ところが川べりに出ると、橋が流されてしまっていたのです。乗っていた小さなバスで、そのまま川を渡るしかありません。緊迫した場面もありましたが、とにかく試してみると、ラッキーなことに無事渡ることができました。

この冒険は、ロータリーについての二つの大事な真実を思い起こさせます。一つ目は、私たちが力を発揮できるのは、地元で実際に活動する専門家のサポートのおかげだということ。二つ目は、重要な目標を達成するためには、時に危険を冒す必要もあるということです。

毎日、私はロータリーファミリーから学べる喜びをかみ締めています。全ての学びは成長する機会であり、全ての出来事は私たちみんなの「イマジンロータリー」に新たな章を加えていきます。

ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー（R I）会長

1997年以來、ロータリーはグアテマラで識字率向上プロジェクトを通して教科書の提供、教員の研修、奨学金の給付などを行い、農村部の教育を改善してきました
左上：ジェニファー会長と夫のニックさんは、このプロジェクトが支援する読書会を訪れ、学生とその家族から話を聞きました
左下：娘と母と一緒にポーズを取るロサ・マルガリータ・イクスコイ・バッツさんも元奨学生です